

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
作業療法学特論	OSP44-001	必修	1	4	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
志茂 聡 他	C306	sshimo	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	4 年生後期までに授業、臨床実習で学習した内容の要点を整理し、作業療法学というマクロ的視点で体系化すると同時に各分野のミクロ的知識を確認する。作業療法学の一通りの学習、実習が終了している学生が対象であるので、実務経験が 5 年以上ある教員による実践的講義を行う。本科目では問題解決型学習に基づくアクティブラーニングを実施する。したがって、各学生の主体的かつ積極的な学習姿勢を重視・期待する。学習過程で疑問が生じた場合は、Teams などを通じて随時担任および各専門分野の教員に質問し、早めに解決することが必要となる。				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	集中講義であるので、日程は未定。掲示等に注意すること。				
教科書	これまでに使用した教科書				
参考書	これまでに使用した配布プリント				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	作業療法学の基本的知識を総合的に理解する。			HSU(1)~(5)、OT(1)~(3)	
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)	
1	オリエンテーション	[担当] 主担当及び下記担当教員	同時双方向型授業	シラバスを確認する	1
2	基礎医学に関する小テストを受験し重要項目を発見する。	[担当] 主担当及び下記担当教員	同時双方向型授業	与えられた課題を行う。	1
3	2の結果に基づき各自で学習目標・学習計画を立てる。	[担当] 主担当及び下記担当教員	同時双方向型授業	与えられた課題を行う。	3
4	2に基づき、担任や専門分野の教員の指導のもと自主学習を行い、基礎医学全般の知識を作業療法学というマクロ的視点で総合的に体系化する。自宅学習の成果について、確認テストを受験する。	[担当] 主担当及び下記担当教員	自主学習型授業	与えられた課題を行う。	3
5		[担当] 主担当及び下記担当教員		与えられた課題を行う。	3
6		[担当] 主担当及び下記担当教員		与えられた課題を行う。	1
7	臨床実習で学習した医学的知識 (主に専門科目)に関する小テストを受験し重要項目を発見する	[担当] 主担当及び下記担当教員	同時双方向型授業	与えられた課題を行う。	1
8	8の結果に基づき各自で学習目標・学習計画を立てる	[担当] 主担当及び下記担当教員	同時双方向型授業	与えられた課題を行う。	1
試	筆記試験 評価のポイント参照				

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療法学科】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		95	0	0	5	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	15	0	0	0	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	3	0	3
	問題を発見・解決する力	0	0	0	2	0	2
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点				
試験	①	✓	国家試験と同様の形式で試験を行う。評価割合 95%とする。出題内容は過去 10 年間に 出題された国家試験問題およびその改変問題とする。			教科書、配布資料をもとに解説を行う。	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	各回に対する学習目標・学習計画を立て、実施状況について評価する。評価割合は 5%とする。				
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	榎田 哲弥、小沢 健一						
教員の実務経験	各教員は各専門分野における専門家としての実務経験をもつ。						
実践的授業の内容	「根拠に基づく医療」の実践に必要な不可欠な、基礎医学全般の基礎的知識および論理的思考力を教授する。						
そ の 他	本科目は Teams を使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wifi 環境を推奨する。通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスが変更される可能性がある。						